

日本赤十字社福岡県支部 特別養護老人ホーム豊寿園

1. 実地評価に関する内容

実地評価を行った日	平成 20 年 2 月 28 日
実地評価を行った認定評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会
評価の対象となる介護サービス	介護保険法第7条第21項に規定する 介護福祉施設サービス

2. 評価対象施設の基本情報

(1)	施設名	日本赤十字社福岡県支部 特別養護老人ホーム豊寿園
(2)	介護保険事業所番号	4070100179
(3)	事業所所在地	福岡県北九州市門司区大字畑1808-5
(4)	電話番号	093-481-1121
(5)	FAX番号	093-481-5678
(6)	メールアドレス	houjyu.jrc@mist.ocn.ne.jp
(7)	ホームページアドレス	
(8)	運営法人名称	日本赤十字社福岡県支部
(9)	運営法人所在地	福岡県福岡市南区大楠3丁目1-1
(10)	開所(事業開始)年月日	平成9年6月5日
(11)	施設長氏名	園長 榎本 幹生
(12)	従業員に関する情報 ※ (職種・保有資格・人数)	別表1のとおり
(13)	サービス提供内容 ※	別表2のとおり
(14)	協力医療機関 ※	医療法人財団 小文字病院 平塚歯科医院
(15)	事業者が提供しているその 他のサービス	短期入所生活介護 居宅介護支援事業 通所介護事業

※ (12) (13) (14) については、施設からの提出資料をそのまま掲載しています。  
サービスの利用にあたっては、最新情報を利用者自身でご確認ください。

# 別表 1

## 従業員に関する情報 (人)

職 種	人数	人数内訳		保有資格								
		正 規	臨時・ パート	医 師	介 護 福 祉 士	社 会 福 祉 士	介 護 支 援 専 門 員	保 健 師	看 護 師	准 看 護 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士
		施設長	1	1								
医 師	2	2										
看護職員	6	4						4				
		2			1		2					
介護職員	39	21		21	3	3						
		18		4								
理学療法士												
作業療法士	1	1										1
言語聴覚士												
介護支援専門員	(2)	(2)				(2)						
生活相談員	4	3			1	2						
		1										
栄養士	1	1										
事務職	4	4										
合 計	58 (2)	35 (2)		21	4	3		4				1
		23		4		1		2				

※ ( ) 書きは兼務です。

## 別表 2

### サービス提供内容

①	事業所の理念・基本方針	<p>理念 人道・博愛・奉仕の赤十字方針にのっとり質の高い介護サービスを提供するとともに地域に愛される施設を目指します</p> <p>基本方針 生活の質の向上を目指した「利用者本位」のサービスの提供に努める常に「意識改革」を行い、選ばれる施設を目指す 「リスクマネジメント」を念頭に置いた「ケア」を目指す</p>				
②	要介護度別サービス入所者数 合計 (100) 人					
	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	0	3	9	18	39	31
③	施設の築年数、改修の状況	築10年(平成9年6月開園) 改修はなし				
④	居室の形態(人数、洋室、和室など)	個室: 4室 2人部屋: 16室 4人部屋: 21室				
⑤	食事時間	朝食 7:45 昼食 12:00 夕食 17:30				
⑥	食事の選択の可否	パン、ご飯、麺類、好き嫌いなどの選択が可能です。				
⑦	食事に関するPR事項	食事は季節に応じた心のこもったメニューを提供しています。提供する食事は出来るだけ多くの職員が検食を行うようにし、検食の際は必ずコメントを記入させ、多くの情報・意見を得るようにしています。検食で得た情報・意見は毎月開催しています給食委員会において検討・協議しメニューに反映させています。				
⑧	お風呂の種類と特徴	お風呂は一般浴槽と座位式特殊浴槽を備え、浴槽は温泉気分を味わっていただけるよう大浴場となっています。入浴の際は利用者一人に職員一人が必ず付き添い事故の発生がないように努めています。				
⑨	お風呂の回数と時間	週2回(火曜日、金曜日) 9:30 ~ 11:30 14:00 ~ 17:00				
⑩	お風呂に関するPR事項	立位が困難な利用者の方でも肩まで浴槽につき、ゆったりと入浴を楽しむことができます。				
⑪	おむつ交換の頻度、考え方	定時交換 昼間: 4回 夜間: 2回 定時以外にも尿意訴えがある時は、随時誘導を行います。また、夜間は大きめのパットを使用し、睡眠を充分取れるよう配慮しています。				

⑫	レクリエーションの種類と内容	<p>ケアボックス：リズムに合わせて有酸素運動を行ないます。</p> <p>回想法：懐かしい写真等を見ていただき、むかしの時代を語り合います。</p> <p>セラピューティック：寝たきりの利用者さんへの手・足のマッサージ、音楽や語らいの一時を過ごしていただきます。</p>
⑬	家具等の私物の持ち込み	<p>在宅で使用されていた家具（タンスや鏡台）を持ち込んでいただき、在宅と変わらない空間（環境）づくりに努めています。</p>
⑭	ボランティアの受け入れ状況	<p>現在、団体は10団体、個人は3名の登録の他、学生、事業所の受入れも積極的に行なっています。主な活動内容は利用者とのレクリエーション、話し相手、リネン交換、行事手伝い、除草作業、ギター演奏等で、昨年度は210回の活動をいただきました。</p>
⑮	利用料金（介護サービス自己負担分1割、食費、その他の費用）	<p>食事に要する費用：1,380円/日</p> <p>居室に要する費用：320円/日</p> <p>理美容代：①カットのみ 1,200円/回 ②カット、顔剃り 1,500円/回</p>
⑯	その他のPR事項	<p>利用者の健康管理において毎日バイタル測定を行うなど風邪、感染症の予防に努めています。また、家族との連携を図るため家族を交えてのケアカンファレンスを半年に一度開催し、ケアプランに反映させるとともに利用者の変化についての情報提供を常に行なうなど家族とのきめ細かい連携が図れるよう心がけています。</p>

### 3. 評価結果の概要

#### 【総合評価】

認 証	①有無及び種類	あり 介護老人福祉施設
	②認証年月日	平成20年 3 月31日
	③認証の有効期限	平成23年 3 月30日
	④過去の認証歴	年 月 日 ~ 年 月 日
良 い と 思 わ れ る 点	①	<p>(概要) 日本赤十字社の精神である「人道・博愛・奉仕」を職員全員が理解し、介護サービスを実践し、利用者や家族から信頼を得ています。</p> <p>(説明) 豊寿園の基本理念に基づいた運営方針が明確に示され、利用者、家族に周知徹底し、利用者の尊厳を基に職員は、共通した一貫性のあるサービスを提供しています。また、介護サービスの質の向上、確保を目指し、研修会参加や地域の同業者との交流を図っています。</p>
	②	<p>(概要) 社会資源リストを分野別に作成し、協力したり、されたりの関係を構築し、地域福祉ニーズの把握に努め、地域福祉の核になれるように目指しています。</p> <p>(説明) 園内で、地域の方々を対象とした、赤十字家庭看護法介助員養成講習会を無料で毎年開催したり、健康講座の講師派遣や園主催の行事に参加してもらったりしています。また、広報誌を発行し社会資源リスト先に送付し、園の現状と課題と将来について理解していただく努力をしています。</p>
	③	<p>(概要) 利用者一人ひとりの介護サービスの提供を実現するために、組織として、利用者の意向や嗜好、家族の要望を聴取し、実践しています。</p> <p>(説明) 利用者一人ひとりがその人らしい生活が送れるように、簡単な自己決定、自己選択の支援ができる仕組みをつくり、食事、手芸、身だしなみ、理容、美容、爪切り、ひげそり、化粧等、個別的対応が出来るように工夫が来ています。</p>

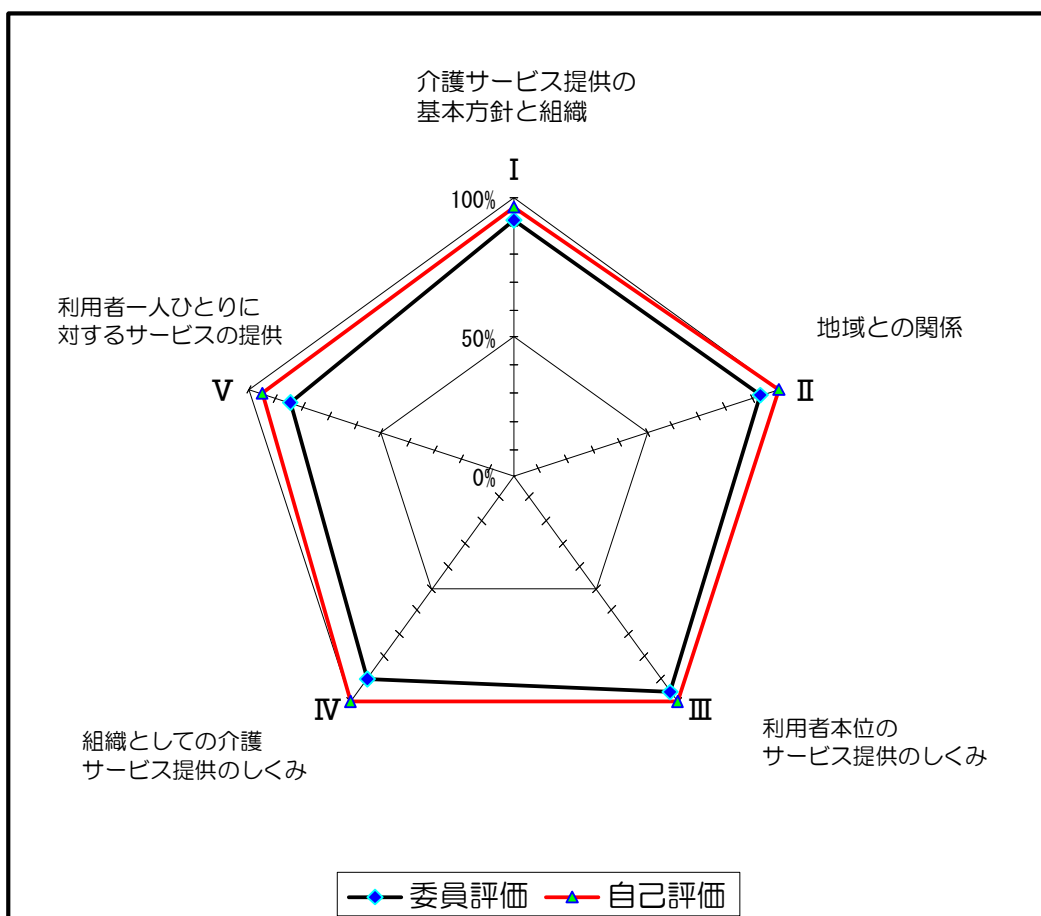
改善を要する と思われる点	<p>① (概要) 園周辺は福祉施設に囲まれ、一般住民の居住が少なく、地域福祉ニーズの把握が困難で、事業所同士の情報交換が多いようです。</p> <p>(説明) 地域の福祉サービス事業所として、貴重な社会資源である豊寿園の認知症専門施設を、活かしていくために、さまざまな機会を通じて、地域との交流を図り、福祉ニーズ把握の体制をつくり、地域の核となられることを期待します。</p>
	<p>② (概要) リスクマネジメントを三つの運営方針の一つとし、事故防止対策に重点が置かれ万全ですが、自立支援に向けた取り組みが不十分であると見受けられます。</p> <p>(説明) 事故防止に重点を置き、リスクを伴う自立に向けた介護サービスの提供が不十分であると見受けられます。利用者、家族に在宅復帰に向けた、自立支援の必要性を説明し、理解してもらい、協力していただくことが大切です。</p>
	<p>③ (概要) 研修会報告書に実施状況や研修成果と効果、取り組み状況等の正確な記録がないようです。</p> <p>(説明) 職員一人ひとりの研修会の実施状況や研修成果を把握し、研修受講が職員の資質、技術、技能向上に繋げているかを検討して下さい。また、介護保険制度の変更時のみでなく、定期的に介護保険制度の仕組みやサービス介護の変更について、研修会を実施されることが望まれます。</p>

## 【評価領域ごとの評価】

### 評価結果表

領域	項目数	満点	自己評価		委員評価	
			得点	割合	得点	割合
I	21	63点	61点	96.8%	58点	92.1%
II	10	30点	30点	100.0%	28点	93.3%
III	23	69点	69点	100.0%	66点	95.7%
IV	16	48点	48点	100.0%	43点	89.6%
V	15	45点	43点	95.6%	38点	84.4%
計	85	255点	248点	97.3%	233点	91.4%

### 評価結果グラフ



## 評価の理由

評価領域		評価の理由
I 介護サービス提供の基本方針と組織	サービスの質の向上のための、組織的な取り組みについての評価です。	研修委員会を毎年3月に開き、成果を評価し、次年度の研修計画に繋げています。また、職員の勤務年数、習熟度、やる気に合わせて研修会参加の組み合わせを行っています。しかし、研修報告書の具体的な取り組みと成果がはっきりしないようです。研修結果が出せる研修会受講となることを望みます。
II 地域との関係	利用者の生活の質を高めるために行っている地域への働きかけなどの評価です。	地域の方々を対象に赤十字家庭看護法介助員養成講習会を開催し、修了後は園のボランティア団体に所属し、活動してもらっています。健康講座に園より講師として参加し、介護に関する相談を受けています。しかし、園周辺に地域の居住者が少ないので、地域福祉ニーズの把握などが今後の検討課題となっています。
III 利用者本位のサービス提供のしくみ	利用者の意向を尊重し、自己決定・自己選択に基づいたサービス提供のしくみができているかなどの評価です。	利用者の意向を尊重した介護サービスの利用が、出来るように具体的に対応し、利用者一人ひとりの尊厳を守り、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業を活用してその人らしい暮らしを支援しています。利用者の入所時に家族を含めて本人の履歴、大切なこと、嗜好、特技など把握して記録し、利用者の意向の表出が難しくなった時に備えています。
IV 組織としての介護サービス提供のしくみ	介護サービスの提供にあたり、内容・手法が標準化・明文化されているかなどの評価です。	介護サービスの提供計画の作成は、利用者本人、家族の意向を聴取し、同意を得て実施しています。計画に基づいたサービス提供は内容や手順がマニュアル化し、明文化されています。見直しはモニタリングを踏まえて行われています。今後の課題として、「家族同意の説明日の記録」「利用者ごとに記録を整備し、一元化する」また、「利用者家族の意向がサービス提供計画に反映されない場合の理由を記録する」等の工夫が望まれます。
V 利用者一人ひとりに対するサービスの提供	介護サービスが利用者一人ひとりの状態に応じて提供されているかの評価です。	利用者一人ひとりの心身の機能維持や向上を目的として、その日の状態に応じて職員が臨機応変に対応し、介護度の軽減やADLの改善で、生活の自立支援の取り組みを目指しています。また、利用者が快適な生活を営む環境に取り組んでいますが、2階部分の一部の居室は私物がほとんどありません。馴染みの物を持ち込み、利用者が安心して穏やかに過ごせる配慮が望まれます。



## 評価結果に対する事業者の意見

日本赤十字社福岡県支部  
施設名 特別養護老人ホーム豊寿園

この度の第三者評価機関による外部評価は、自分たちがベストを尽くしていると思う中で気づく事があり、再認識させていただいたよい機会でありました。

利用者の一人ひとりがその人らしく、そして在宅復帰と自立を目指した生活を送られる利用者の方々には基準や規定をこえ、職員がその人の立場に立った生活の支援を行うことがもっとも求められる事であります。

今後も当園の基本理念である「人道・博愛・奉仕」を念頭に、この度の評価を真摯に受け止め、常に改善の意識をもって、より良い施設作りを目指します。

そして「豊寿園で良かった」と利用者をはじめ、ご家族、そして地域のだれからも愛される施設となる様、職員一丸となって努めてまいります。